

法人の理念

私たち章仁会は地域の皆様が安心して暮らしていただけるよう、総合的な健康づくり、トータル・ケアに積極的に関わり、それを発展させていくことを使命としています。

行動指針

1. 人間の尊厳と人権を尊重し、より自立した生活を支援するための、最良のサービスを提供させていただきます。
2. 家族ならびに地域からの信頼を大切に、地域に根ざした法人を目指します。
3. 職員はつねに向上心を持ち研鑽に努め互いに協力します。
4. 施設は明るく事業は透明に、効率の良い経営を目指します。

令和2年度事業方針・重点的取り組み課題

昨今の介護職員、看護師の人材不足は当法人においても影響を受けており、従業者の確保は大きな課題となっております。平成31年4月より施行された働き方改革関連法の遵守はもとより従業者の働き方、職場環境の改善に努め従業者確保に努めます。

各事業の新規利用者獲得に向け引き続き関連事業所、医療機関等と連携を図ってまいります。

入所、通所介護の介護職員にシめる介護福祉士の割合が安定して一定基準を超える体制が整ったため現行のサービス提供体制強化加算の区分を1段階上げる事とします。また、令和3年度の介護報酬改定をはじめ各種制度の情報をいち早く捉え柔軟に対応できるよう努めます。

昨年度はリハビリセンター章仁苑本館、別館（佐竹医院）のエレベーターの改修工事を実施しました。施設、設備、車輛等の老朽化による修繕、買い替えを要するものが増えてきておりますので、計画的に修繕、買い替えを進めていきます。

1. 法人事務局

①人材確保と人材育成

業務の効率化、ICTの導入などを視野に入れた検討

職業安定所、人材紹介・派遣業者の活用などの積極的な求人活動の実施

内部・外部研修によるスキルアップとメンタルヘルスフォロー

②収入の確保

各事業の稼働率向上の取り組みの継続

老健の従来型から加算型への移行

③施設、設備の老朽化への対応

中長期的な改修、買い替え計画の策定

④地域貢献事業の実施

地域住民参加のトレーニング、介護者支援事業の継続と災害時の地域住民との協力体制の充実に努めます。

2. 介護老人保健施設リカバリーセンター章仁苑

1) 入所・短期入所療養介護

稼働：1日平均 65名（短期入所療養介護利用者込み）

内容：入所希望者、関連機関のニーズを的確に捉えベッド稼働率の向上に努めます。

在宅復帰率向上に取り組み、季節限定の利用等にも積極的に対応します。

メンター制度等の充実により職員の育成に努めます。

業務の効率化、省力化に努めご利用者様にかかわる事のできる時間を増やしていきます。

2) 通所リハビリテーション

稼働：1日平均 17名

内容：季節に応じた行事や在宅生活継続のためのリハビリテーションの実施により顧客満足度、利用者数の向上を目指します。

3) 訪問リハビリテーション

稼働：1日平均 4名

内容：日程、コースの見直しにより効率的なサービス提供に努めます。事業所周辺の顧客獲得に積極的に取り組みます。

3. 通所介護事業所章仁苑センター

稼働：1日平均 25名

内容：療法士による個別のリハビリテーション等を行います。サービス内容を広く情報発信し顧客獲得に努めます。

個別のケアや行事を充実させます。

4. かわにし小規模多機能施設

稼働：目標登録者数 25名 月平均泊り人数 30名

内容：地域行事への参加、交流を行うことにより一層地域に根ざした施設を目指します。事業実施地域住民に対してサービス内容の情報発信を強化します。

5. 章仁会居宅介護支援事業所

稼働：月平均実績数 35名／介護支援専門員1名あたり

内容：三次市、庄原市の介護保険課及び地域包括支援センターや医療機関等との連携により新規登録者の獲得に努め登録者数の安定に努めます。

各種の研修に参加し専門的知識を身につけサービスの質の向上に努めます。

6. 住宅事業

1) サービス付き高齢者向け住宅

内容：積極的なPRによる申込者の確保

2) 高齢者・子育て支援住宅

内容：老朽化した住宅、設備の運用の見直し

7. 地域支援事業

1) 三次市元気ハツラツ教室

内容：令和2年度においても三次市より受託者募集があった場合には和田地区、川西地区の受託に向け応募する予定です。

2) 地域トレーニング教室

内容：法人独自の取組として、地域住民を対象に章仁苑センター4階を使い三次市元気ハツラツ教室を実施しない週にトレーニングを中心とした集いの場を提供します。

3) 介護者支援事業

内容：法人独自の取組として、現在介護をしておられる方、介護に興味がある方を対象に、介護講座、情報共有、交流の場を提供します。

4) 地域との交流

内容：法人を知っていただき、身近に感じていただくための取り組みとして地域住民を対象としたイベントを開催します。また地域イベントに積極的に参加します。

